



TELECLASS THE WORLD

教育改革に関する意見

グローバルプロジェクト

コーディネーター育成

提案者

テレクラス・インターナショナル・ジャパン

代表 高木洋子

Weaving The World Into One
for peace in harmony



TELECLASS THE WORLD

グローバルプロジェクト

コーディネーター育成

概要

概要を以下の順で述べる。

- 1 目的
 - 2 背景
 - 3 内容
 - 4 意義
 - 5 運営
- 連絡先

1 目的：

各地域にグローバルプロジェクト(GP)コーディネータを育成する。この専門的なコーディネータは、海外の教育ネットワークやGP情報を収集して地域の学校へ紹介し、また地域の学校主催プロジェクトを海外へ紹介して参加校を募る。或いは、国際会議へ積極的に出席して教育関係の人脈を広げ、また国内で開催される会議に海外から教師を招聘して教師同士の人的交流を進める。こうして得られる情報や人脈を、コーディネータ同士がネットワークや研修を通して共有する。交流先を探し、進行中のプロジェクト相手と起こる問題に対して円満に解決へ導き、豊富なプログラムを提案することで、地域の学校教師が持っている、英語力不足や情報不足による戸惑いや不安感を解消し、積極的に国際交流やGPに取り組めるように、海外との架け橋として働くコーディネータを育成することを目的とする。このコーディネータ育成は、近く導入される総合的な学習の、多くの国際理解関係プロジェクトを成功へ導き、国際交流やGPが日本の学校教育に馴染む土壌を作る。

2 背景

現在の学校教育は大きな転換期にある。その一つに、学校の教室単位であった従来のプロジェクトサイズが、インターネット・電子メール・テレビ会議などの情報通信環境が教室に整備されるにつれ、他国と、或いは複数国との、教師・生徒による国際間共同学習として注目を集めるようになった。例えばインターネット上の作品コンテストは、複数の国がチームを組んで参加するというスタイルになった。これは、互いの文化・言語・生活様式を尊重しながらも、同じ地球上に住む人間として、違いを理解し、乏しさを実感しあい、豊さを共有しあうグローバルな平和教育の流れである。

これらの国際間共同学習や交流に必要とされる英語学習は、従来の学習方法に疑問が投げかけられている。インターネットによるリサーチに必要なスピーディな英語の

読解力・メールやウェブ掲示板の文章力・テレビ会議や訪問で必要なリスニング力や会話力・更にプレゼンテーションで問われる表現力など、早急に身につけていかねばならないが、これらの必要な英語力をつけるための模索が、小学校教師も交えた英語教師間で始まっている。

また小学生・中学校レベルでの国際交流・G P参加には、英語サポート隊の誕生を耳にする。PTA・大学生・留学生・地域ボランティア・英語塾・退職教師など有力な助っ人の発掘だけでなく、地域に開かれた学校を作る種ともいえる動きが、ネットデイなどを機会に各地で検討され始めた。

一方、必須となる情報教育・総合的学習導入を控え、校内や地域のインターネット接続が順次構築されている。国内の教育変革に対応し、海外の多くのプロジェクト参加に向けて、学校環境整備が進められている。へき地遠隔地教育にも大きな予算が投入された。

しかし、情報通信環境が整備され、他の必要事項が前向きに捉えられているにも関わらず、養成を急がねばならない決定的なことがある。それは、特のこれからの総合的な学習の実施を前にして、地域で専門的に働くG Pコーディネータの育成である。昨今、国内の教師間では、環境は整備されても、この新しい教育の流れに大きな戸惑いがある。特に国際交流や共同プロジェクト参加となれば、溢れるような雑然とした情報の中で、或いは情報の外で、教師自身の英語力や交渉の不慣れ・海外の人脈不足を伴い、どうしても一歩が踏み出せないという学校や教師が多い。或いは、通信費や会議用機器問題で、必要な時に必要な手が打てない。折角の機会を捉えられず、継続できない場合も多い。テレクラスメーリングリストに寄せられたあるメールには、「多くの学校が国際交流をしたいが、どうすれば良いか分からない。。五里霧中の状態です。そんな中でテレクラスが一つの光になってくれれば良いと思っています」とあった。事実、テレクラス事務局へ海外の対応校やメールパートナー、参加可能なプロジェクトを紹介して欲しいといった依頼が多く、その仲人役に最近では追われている。

これらの教師の不安を取り除き、海外の国際間プロジェクトや国際会議の情報を捉え、必要であれば日本語を添えて、地域の学校へ分かり易い形で情報を提供する。数多くのプロジェクトから地域の学校が参加可能なものを選び、相手を選び、必要な際に躊躇なく国際電話をかけて折衝し、トラブルを解決し、或いは国際テレビ会議を使用して双方を紹介するなど、教師・生徒がともに安心してプロジェクトに取り組める体制を作るG P専門のコーディネータが、各地域に必要なものであるとの確信からこれを提案するものです。

3 内容

- (1) GPコーディネータ育成
 - ・ 公募
 - ・ 全国研修・講演(年1回開催)
 - ・ コーディネータ ネットワーク作り
 - ・ (メーリングリストとウェブ)
 - ・ コーディネータによる地域内学校の国際担当教師研修
 - ・ 地域サポータ(メール翻訳・TV会議通訳など)

- (2) 情報ストリーム事業 (オンライン)
 - ・ 国際間プロジェクト収集 > 国内各MLへ紹介
 - ・ 国内プロジェクト収集 > 国際MLへ紹介
 - ・ 国内外の依頼に対応

- (3) 人的ストリーム事業 (オフライン・TV会議)
 - ・ I*EARN・KIDLINK・NECC・E-SCHOOL
など海外の国際会議へ出席、教師へ出席を勧める。
 - ・ 国内の国際会議へ海外からの参加を呼びかける

4 意義

- (1) GPコーディネータ育成意義
 - 海外の教育ネットワークと連携をとり、情報を地域の学校へ提供
 - 国際間プロジェクトへの参加を進め、トラブルを解決
 - 地域内学校へコーディネータサービス
 - MLと研修でコーディネータ間の情報を共有
 - 海外ネットワークと地域の架け橋
 - 国際会議で国内外教師間のヒューマンな交流の場の提供
 - 国際会議で情報収集・発信先ネットワークを広げる

- (2) 学校における意義
 - ・ 教師の海外ネットワークコラボレーション
 - ・ 総合的学習時間帯を使った継続的なプロジェクト学習

- (3) 地域における意義
 - ・ 翻訳サポート隊などでPTA・市民の教育への協力体制

- ・ 地域に開かれた学校の具体化

5 運営

- 【 ステージ 1 】 GP 育成プログラム作成・公募
 - * GP コーディネータ"Global Project Coordinator" (GPC) 育成プログラム作成印刷
 - * GPC 育成プログラム送付・公募
 - * 応募者リスト等作成
 - * GPC グループ用 Web & ML
 - * 外務省・文部省・郵政省・各地教育委員会後援申請
- 【 ステージ 2 】 情報ストリーム準備
 - * 国内日本語用 ML
 - * 対応海外ネットスクール・教師の確認
 - * 国際英語用 ML
 - * 海外対応校・教師リスト作成
- 【 ステージ 3 】 全国コーディネータ研修準備と実施（毎年 1 回開催）
 - * 場所・日時決定
 - * 講演依頼（国内・海外）の打診
 - * 海外コーディネーターとTV会議準備
 - * 資料作成（海外ネットワーク・プロジェクト・メールマナーなど）
 - * アンケート作成
 - * 全国コーディネータ研修開催
 - * アンケート集計とまとめ
- 【 ステージ 4 】 地域内学校へのコーディネートサービス開始
 - * 地域内学校コーディネートサービス説明会
 - * 地域の翻訳サポート隊募集
 - * サービス開始
 - * 地域内学校国際担当教師への研修
 - * 活動報告を日本語版ML
 - * 情報交換を日本語版ML・英語版ML
- 【 ステージ 5 】 国際会議出席・ゲスト招聘
 - * 海外の教育ネットワーク主催国際会議情報収集

- * 国内における国際会議情報収集
- * 参加・プレゼンテーション検討
- * 成果を日本語版ML・英語版MLへ掲載し、全コーディネータで共有

【 ステージ 6 】 まとめ

- * 各地域コーディネータから報告書
- * 報告書作成・印刷・送付
- * 外務省・文部省・郵政省・各地教育委員会へ報告書
- * 関係機関へ報告書

【 ステージ 7 】 アフターケア

- * GPCのアフターケア
- * GPC育成継続のための助成申請

連絡先： テレクラス・インターナショナル・ジャパン

代表 高木 洋子

569 1036 大阪府高槻市塚脇1 11 25

電話：0726 88 3415

ファックス：0726 80 2115

メール: teleclas@mbd.sphere.ne.jp

HP: <http://www1.sphere.ne.jp/Teleclas>